

### 地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	幸田町役場		代表者名	小林 英男
担当者部署	総務部防災安全課		連絡先電話番号	0564-63-5148
担当者役職	主任主査	担当者氏名	梶川 真由	連絡先E-mail
住所	444-0192 愛知県幸田町大字菱池字元林1番地1			

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大高 利夫
評価	よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	本町の实情に合わせた実効性のあるものになるように、内容を考慮していただいたこと。
アドバイザー への要望事項	なし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月1日	13時30分	15時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	幸田町役場		最寄駅	JR幸田駅
	所在地	愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1		最寄駅からの交通手段	徒歩、車
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

#### 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	20 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	要配慮者やその支援者等に、的確な災害情報伝達ができる体制が整っていないこと。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	課題・問題点を解決するために実施すべきことや事業の優先順位を職員が持てるようになる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	何をどうしたいのかを明確にすること。情報収集なのか情報発信なのか。地元と行政のコミュニケーションを図る手段が必要なのか、住民からの情報を受信する手段が必要なのか。アプリがいいのか、通信手段がいいのか、等。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	デジタル技術の活用手段は様々あり、誰に何をどうしたいのかを明確にすることで有効に活用できるということがよくわかった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	災害時の要配慮者支援について、具体的なイメージをすることができなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

